

## 81期第2回ダイバーシティ推進委員会 議事録

日時:2025年9月18日(木)16:45-18:45

場所:広島大学 SK205 会場 および zoom(ハイブリッド開催)

### 出席

現地)

齊藤準、石坂香子(-18:05)、田島節子、寺倉千恵子、成木恵(-17:20)、服部梓、久野純治、  
宮島顕祐(-17:30)、小林夏野、中本有紀  
事務局 : 宮野

オンライン)

山縣淳子(-18:05)、濱口幸一(17:30)、所裕子(17:10-17:50)

### 欠席

馬場彩、岩崎昌子、小林研介、生井飛鳥、野尻美保子、門信一郎

### 議題:

<実施、参加報告>

#### 1. 学協会連絡会 第3回運営委員会参加報告(2025/8/29 13:00-15:00【オンライン】 宮島委員)

運営委員会議事録を基に報告がされた。

幹事学会輪番制実現に向け、外部委託など業務軽減を進めている。それに伴い、呼称も「幹事学会」から「役員選出学会」に変更予定。加盟学協会を対象に輪番制に関する2回目のアンケートが実施される予定であり、物理学会からも回答を寄せる。

その他の議題では、ポストの女性限定公募について、若手男性への逆差別ではという意見があったことが報告された。

当委員会でも以下の意見交換がされた。

- ・女性だけがいい思いをしているのではなく、現状を是正する必要があるという前提があること、何年かけてどうしていくのかなど、女性限定公募をする理由やメッセージを伝える必要がある。
- ・学部生にもアンコンシャスバイアスについて学ぶ機会を設けられるとよいが、必修とした大学で学生からクレームが出るなど、厳しい現状である。

#### 2. 女子中高生夏の学校(2025/8/9-11【国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷)】開催報告 中本オブザーバー、服部委員/参加報告 齊藤委員長)

## 実施報告)

夏学実行委員会で作成中の実施報告書案をもとに報告がされた。

スタッフ: TA33名、学会・企業からのスタッフ 250 名以上

参加者: 29 都道府県から 90 名(中 3→15 名、高 1→52 名、高 2→20 名、高 3→3 名)

実験: 18 団体

ポスター: 44 団体

今年から会場が国立オリンピック記念青少年総合センターになり、例年よりも準備等大変だったが、非常に盛況に終えることができた。数年間実施していなかった保護者向けプログラムも開催し、アンコンシャスバイアスに関するセミナーを行った。参加者だけでなく TA も同じ立場の仲間と悩みを共有できたことで勇気づけられた様子で、非常に喜んでいて。同じ悩みをもちながらも、夏学を知らない子、夏学に参加できていない子などが相当数存在しており、彼女たちへのアプローチが課題の一つと考えられる。正式な実施報告書は実行委員会で確定後、物理学会にも送付される予定。

## 参加報告)

当日の写真をしながら報告がされた。

実験、ポスター、キャリアパス相談会、交流会に参加した。いずれも常に席が埋まる状態で興味、関心を持って参加してもらえた。「物理かるた」を読み札、絵札の組で 1 人 1 組ずつ配布したところ非常に好評だった。キャリアパス相談会では物理学会の下敷きが役立った。来年は多めに用意することとする。また、下敷きには物理学会の HP トップページの QR コードを掲載しているが、物理学会の会友が学部生まで年会費免除のため、次回増刷の際には会友登録ページの QR コードに差替えることとする。

参加報告後意見交換がされた。

- ・夏学では個人情報の問題で参加者の追跡調査はできていない。
- ・関西科学塾では行ったことがあり、回答率は 1 割くらいだったが 1000 名程度から回答が得られた。物理に進学した参加者のうち、関西学塾で実験会場となった大学に進学した生徒の割合が高く、参加経験が進路を検討する際に影響していることが伺え効果はあると感じられる結果が出ている。
- ・参加者の相談から、高2の選択の際に物理が開講されていなくて選択できない学校がある。要因として、希望者が少ないこともあるが、物理を教えられる教員の不足もある。

### 3. 第 80 回年次大会(2025 年)IFM「アンコンシャスバイアスとその解消に向けて」参加者による意見交換 報告(2025/9/17 12:30-13:30【広島大学】)

資料に沿って報告がされた。

約 40 名が参加し、活発な意見交換がされた。男女共同参画学協会連絡会が提供しているチェックシートの会員への周知や、中学・高校の先生方への呼びかけなど、物理学会に行ってほしいことや、国内外の状況や例なども参加者から多数紹介された。

また、参加者から男女の問題だけでなく、ダイバーシティの問題を広く扱ってほしいとの声もあったことも報告された。その点も考慮しながら、来年以降も年次大会でのランチョンミーティングの開催を継続していく。

### 4. 第 80 回年次大会(2025 年)託児室実施状況報告(2025/9/16-19 大会担当より資料による報告)

資料に沿って報告がされた。4 日間のべ 12 家族 12 名の利用で、滞りなく行えている。

当委員会からの要望として、大会の web ページで、現状、託児室申込がアクセス欄にあるため、参加申込欄に移動することを大会担当者に提案することとなった。

### 5. 今年度のその他の取り組み状況の確認(広報, 国際会議参加等)

会誌編集委員会との連携については、編集委員の大原先生と調整中であることが斉藤委員長から報告された。

また、10 月開催の APPC に斉藤委員長、田島委員、野尻オブザーバー、小林オブザーバーが参加することが報告され、発表資料作成のため、男女共同参画学協会連絡会へ第 5 回大規模アンケートの物理学会のデータについて借用申請することが承認された。

<検討>

### 6. 2026 予算案

案の通り計上することが確認された。

資料:

資料 3\_年次大会ランチョンミーティング報告

資料 4\_託児室報告(2025 年次大会)

資料 6\_2026 予算案